プロとして恥ずかしくない
JavaScriptの大原則　p.008
エムディエヌ・ムック　2006年7月21日発行

Section 1-1 Example

Example 03

トピック情報をトップページ上に集約した商店街のナビゲーションサイト

イラストで楽しさを印象づける商店街のナビゲーションサイト。全体地図と各店舗の位置、トピック情報までをトップページに盛り込み、ユーザーの求める情報を提供しやすくした。各店舗の位置は、マウスオーバー時に店舗情報が表示され、同時に最新情報がページの目立つ位置に電光掲示板のように流れる。こうすることで詳しい内容のみページ遷移することになる。このほかユーザー層を考慮し、文字の大きさを可変するなど読みやすさにも気を配っている。

作例・文＝池田未来　URL：http://www.dtop.jp/

商店街サイトでJavaScriptを使うときのポイント

多くの商店を公平に紹介し、だれが閲覧してもわかりやすいよう制作する必要のある商店街系のWebサイト。商店街の雰囲気を伝えるため、ビジュアルは大いに活用したい。その際、商店紹介の並びが商店街の順路と連動しているなど、遊び心を取り入れるとさらに魅力の高いWebサイトになるだろう。また目的や好みを入力すると、それにマッチする商店街内の店を表示するなどの機能にもJavaScriptを活用できる。併せて、実際に来店を誘引するため、「地元密着情報（地域情報、特売状況など）」の発信や「インターネット上でのクーポン券」の配信など、つねに地元顧客の満足を考えたコンテンツ制作に配慮すべきである。

文＝佐藤有美

Extraction of Parts

画面解像度に合わせてテキストの文字サイズを変化させる

▶▶▶ P064

ユーザーの使用する画面解像度に合わせて、テキスト部分の文字サイズは自動的に変化する。一般のブラウザサイズ（800×600）を基準にして、それより大きな画面解像度では文字サイズを大きく、小さい画面解像度では小さくなるように設定した。ただし自動変化ではなく、ページ内に文字の大きさを変化させるボタンを配置してもよい

マップ上の店舗にマウスオーバーさせると店舗の情報が吹き出しで表示される

▶▶▶ P064

店舗リストや地図上の店舗にマウスカーソルを重ねると、その情報と見出しが地図の上で吹き出しのように表示される。店舗の位置や情報を視覚的に見せることで、ユーザーは親しみやすくなる

電光掲示板のようにテキストを流して情報を印象づける

▶▶▶ P068

店舗リストやアイコンにマウスを重ねると、その店舗のトピックスが右から左へと電光掲示板のように流れる仕組みを施してみた。ページ遷移をさせなくても、お買い得情報やキャンペーン情報を知ることができるようになる

事例から学ぶヒント

青山三丁目商店街
http://www.aoyama246.net/

「VISUAL AOYAMA」というコーナーには、青山の「今」を映し出す多数の写真を配置。気になる写真をクリックすると、ポップアップウインドウで拡大することが可能。拡大された写真をクリックするだけで閉じる点もよい

エスプラードアカサカ
http://www.e-akasaka.com/coupon/index.asp

商店街のクーポン券リストの中から、必要なものを選んで一括してプリントアウトしてくれる機能。キーワード検索などから条件で絞り、検索結果右側のチェックボックスにチェックを入れ、印刷ボタンを押すと自動的にクーポン券を発行してくれる仕組み

新宿大通商店街
http://www.shinjuku-ohdoori.jp/

きれいに整ったデザイン。実はJavaScriptを利用して、ブラウザごとにスタイルシートを切り替えている。トップページのメインメニューはFlashだが、下位ページではJavaScriptを利用したメニューに切り替わっているのだ

008

素材辞典シリーズ「素材辞典 Vol.60（彩りの花編）」より「CL048」（データクラフト）、マイザイメージライブラリー「vol.132（大阪・神戸）」より「MIX27015」（マイザ）、具満タンDX（デザインエクスチェンジ）